

目標達成計画

作成日：平成 27年 8月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会において、今までは目的が明確ではなかったため、どのように進めていくかが不明な部分があった。	運営推進委員会の場を最大限に生かすため、入居者様のご家族、地域住民の方々に施設の現状や、介護知識の説明、災害時の受け入れ相談などを取り入れます。また、話し合った結果を参加出来なかった入居者様ご家族に周知します。 今までよりも実施機会を多く設けていきます。	今までの議題として状況報告・行事報告・活動報告研修予定などであったが、普段行っている介助方法などを会議内容に盛り込む事。また認知症について認知症実践者研修を受けた職員より説明を行います。	6ヶ月
2	36	声かけなどの接遇について入居者様が介助者よりも高齢である事への意識不足、TPOに応じた声かけ、などが個々に統一されていないことがあります。個人の尊厳やプライバシーを損なわない声かけを常時、意識しなければならないと考えます。	家庭的な雰囲気を大切にしつつ、「一人ひとりに合わせた声かけ」についてもただ、丁寧に話す事だけではなく、非言語コミュニケーションである表情、声色など状態の把握をします。また、認知症の方にも職員全員が症状を理解し、適切な声かけに留意します。	接遇マナー、認知症講座など外部研修に参加し、知識獲得します。また、参加した職員は内部研修を行い伝達研修を行い、全職員が統一した対応を出来るようにします。	3ヶ月
3	2	より一層地域に貢献するためにはどのような方法があるかを模索する必要があります。	地域交流の一環として、運営推進委員会に町会連合会会長がご出席されているため、自治会主催のイベント参加を継続。 また、今後は周辺地域の方を対象として介護支援についての相談会や介護相談の受付を行っていく。	まずは自治会に加入をする事から始め、周辺の方に地域の一人である事を認識して頂く。	3ヶ月
4	35	避難訓練について、日中帯での訓練を2度しか行っておらず、災害時の対応と、災害時に近隣住民との関わりもないため不安を感じている。	災害時でも安心して過ごして頂ける施設を目指し、夜間想定避難訓練を実施。また防災方針を決め各職員で取り組んでいきます。最近では各種災害が心配されることがあり、施設として運営推進委員会の場を用いて、施設を避難弱者の受け入れ施設として活用出来るように周知していきたい。	消防署立会いのもと、夜間避難訓練を10月に実施し、安全かつ効率の良い避難方法を指導して頂き、知識と技術を獲得します。その際、避難器具を実際に使用し、安全かつ効率良くに行えるように訓練します。また、自治会への加入と受け入れ体制の強化を図るために7日分の食料を備蓄します。	6ヶ月
5	33	終末期、看取り介助において職員が実際に経験した事がない職員がほとんどのため、各職員が適切な支援を行えるかが課題と考えます。	「最後までその人らしい人生を全うする事に、職員が関わられる事」をコンセプトに、まずは終末期とは何かを理解します。対応としても他、同職種と情報と対応の共有化を図ります。 また、状態の変化が多い時期であるため、入居者様の変化についてもご家族様に適宜報告、相談します。	まずは看護師や看取り経験者からの情報をもとに研修資料を作成し、内部研修を行います。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。